

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関 各位

令和2年10月29日（木）

【照会先】

鳥羽市健康福祉課健康係

担当：吉川・中村

Tel 0599-25-1185（内線 9641）

～ 国土交通省 スマートアイランド推進実証調査 ～
TRIMet バーチャル鳥羽離島病院実証プロジェクトがスタートします

- 1. 調査の概要** 国土交通省では、離島地域が抱える課題解決のため、ICTやドローンなどの新技術の実装を図る「スマートアイランド」の実現を推進しています。
その企画提案募集に対し鳥羽市が「TRIMet（トライメット）バーチャル鳥羽離島病院実証プロジェクト」として応募したところ採択され、11月2日（月）から鳥羽市の離島において実証調査を行うこととなりました。
- 2. 取組内容** 鳥羽市離島4島の診療所及び本土の市立診療所3施設の計7診療所にクラウド型電子カルテと遠隔医療支援システムを導入し、7診療所にてオンライングループ診療が行える環境を整備し、その有効性等を評価・検証します。本土側の診療所は離島側の診療所のサポートを行うことができるよう環境を整備します。
- 3. 目指す姿** ・ICTを活用して複数の離島が連携した、効率的な診療体制の構築
期待する効果 ・島に医師が不在時でも対応可能な安心できる「離島」での生活を確保
- 4. 対象離島** 神島、答志島、菅島、坂手島
- 5. 調査体制** セコム医療システム（株）を代表団体とし、鳥羽市と共同で設立したTRIMet推進協議会が行います。

※TRIMet とは：Toba Rural area & Island Medical team の頭文字をとったもので、離島間で構築したバーチャル鳥羽離島病院で、医療従事者が連携を取りながらチームを組むこと

※国土交通省 HP：https://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku11_hh_000074.html

◆事業目的◆

離島全体を病院と考え、クラウド型電子カルテで患者情報を一括管理。遠隔診療支援システムで、オンラインによる診療を実現し、多職種によるグループ診療体制を構築。住み慣れた島で安心して生活し続けられる医療支援を提供できることを実証します。



◆具体的な取り組み◆

クラウド型電子カルテ「セコム OWEL」を導入し、医師・看護師で、患者情報の一括管理を実現します。医師は、入力デバイスを常に持ち歩くことで、いつ・どこにいても患者情報を即時に確認し、的確な指示を出し、最新の情報に更新することができます。

遠隔診療支援システム「セコム Vitalook」を導入し、電子聴診器や血圧計、心電計などをこれに接続して測定することで、患者のバイタル情報をリアルタイムに医師に転送し、ビデオ通話機能を利用することでオンライン診療が可能となります。また、受診のために診療所に赴けない患者に対し、リアルタイムモニタリングを用いることにより、質の高い見守り診療を行うことができます。さらに、これらを組み合わせることにより、専門外の疾患、臨時・研修医などによる診察のアドバイスが可能となります。



神島診療所



桃取診療所



菅島診療所



坂手診療所

たとえば、看護師が常駐する離島診療所においては、医師が不在時に救急疾患が発生した場合、看護師から医師へのオンライン診療（D to P with N）を依頼し、リモート診療を実施することにより、検査、処方の指示が可能となり医療の質が高めることが期待できます。